

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**



「大宮八幡中学校の樹」

さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

第3号

令和8年6月1日 発行

感謝の心

校長 下館 文雄

紫陽花の花が色づき始め、梅雨の気配を感じる頃となりました。5月23日（土）に開催した体育祭では多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。子どもたちは、クラスのために一致団結して取り組んでいる姿が印象的でした。



【体育祭3年生の円陣】

さて、5月25日（月）の硬式テニスの大会を皮切りに多くの運動部は、5月30日（土）から中学校総合体育大会さいたま市予選会が始まりました。3年生にとっては、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮する大切な最後の大会です。また、仲間とともに努力し、励まし合いながら活動してきた日々を振り返る機会でもあります。

勝負の世界には、勝つ喜びもあれば悔しい敗戦もあります。しかし本当に大切なことは、結果だけではありません。最後まであきらめずに挑戦する姿勢や支えてくれる仲間への感謝、そして競技に真剣に向き合う気持ちこそが、皆さんを大きく成長させてくれます。

日本を代表するバドミントン選手である奥原 希望（おくはら のぞみ）選手は、世界の舞台上で活躍し、日本一にも輝いた素晴らしい選手です。しかし、その道のりは決して順風満帆ではありませんでした。世界一を目指す中で大きな怪我を経験し、思うようにプレーできない苦しい時期もありました。それでも奥原選手は、決して競技をあきらめることなく、自分自身と向き合いながら努力を続けています。そんな奥原選手には、有名な姿があります。それは、試合前に必ずコートへ一礼し、挨拶をする姿です。奥原選手は、「復帰をあきらめそうになったとき、家族や友人などに支えられ、バドミントンで恩返しするしかないという覚悟が決まった、そんな思いを込めてコートに向かって礼をしています。」と話していました。

大会に出場することを当たり前と思わず、仲間や先生、家族への感謝の気持ちを大切にしてほしいと思います。仲間を応援する声、最後まであきらめない姿、礼儀正しい行動は、見ている人に感動を与えてくれます。皆さんがこれまでの努力を信じ、自分らしく輝ける大会になることを願っています。